

愛媛県立川之江高等学校 令和6年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	音楽 I
単 位 数	2 単位	学年・類型	第 1 学年・全クラス (選択)
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)		
補助教材等	なし		

1 学習目標

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

2 学習方法

- 音楽 I では、様々な音楽活動を通して、音楽への関心を深める。
- 器楽の学習を通して楽譜を読む力を付け、表現の創意工夫をする。
- また作曲を学習することにより、音楽の構成を理解し、曲作りの楽しさを体験する
- 鑑賞では、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏の解釈をしたりして、音楽に対する理解を深める。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		創意工夫を生かした表現、創作、鑑賞をするために必要な知識や技能を身に付けている。	○学習状況の把握 ○音楽活動への取り組み状況
思考・判断・表現		音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。	○実技の内容 ○作品、鑑賞
主体的に学習に取り組む態度		主体的・協働的に表現や鑑賞活動に取り組もうとしている。	○実技の内容 ○作品、鑑賞

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、主に実技テストや鑑賞のプリントの評価になりますが、出席状況、授業態度、課題の提出状況とその内容などを総合的に行います。学年末の評価は1～3学期の評価の平均となります。

4 学習のポイント

- 授業には積極的に参加しましょう。
- 毎回の授業で習得した技術を家庭で復習し、その状態を維持して次回の授業に臨めるようにしましょう。
- 聴いて曲を覚えて演奏するだけでなく、楽譜を見て演奏する習慣を身に付けましょう。
- 音楽の理論を理解して幅広く音楽を楽しむ力を付けましょう。

5 学習計画 (予定)

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	J-POP や歌謡曲の特徴を理解して歌おう	・発声の基礎を学びよい響きの声で歌い、よく調和する響きをつくれるようにする。
5	ギターの弾き歌いに挑戦しよう	・ギターの基礎を学ぶ。 ・ギターでコードを弾き、伴奏法を習得できるようにする。 ・ギターで簡単なメロディを演奏できるようにする。
6	曲のよさや美しさを探ろう	・オーケストラの曲を聴いて、音色の多様性を感じ取れるようにする。
7	能や謡に親しもう	・歌舞伎舞踊と長唄に親しむ。
8	外国の歌曲に親しもう	・イタリア語の発音に親しみ、それぞれの言語の特徴を理解して、イタリア語の表現も理解して歌えるようにする。
9	ギターアンサンブルに挑戦しよう	・メロディと伴奏に分かれてアンサンブルに親しめるようにする。
10		
11	ボディーパーカッションや“CUPS”に挑戦しよう	・身近な物を使ったアンサンブルをグループで工夫して創作できるようにする。
12		
1	表現を工夫して合唱をしよう	・表現を工夫して合唱曲を歌えるようにする。
2	世界の諸民族の音楽(2)	・諸民族の音楽と器楽を、器楽と声楽の視点から鑑賞する。同時に地域の特色や楽器の仕組みを理解できるようにする。
3	ミュージカル・ナンバーを歌おう	・ミュージカルやミュージカルナンバーに興味を持てるようにする。
	作曲家の生涯と作品をたどろう	・作曲家の生涯と関連する楽曲を鑑賞する。